

第11回豊田通商カップ 第3回愛知県U15バスケットボール選手権大会2021 COVID-19対策ガイドライン

大会へ出場するチーム・選手は、本大会が定める「COVID-19対策ガイドライン」の各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。また、「COVID-19対策ガイドライン」の各種事項について遵守しなかった場合、虚偽等の申告があった場合、JBA 規律規程、ABA 基本規程、競技会における違反行為に対する懲罰基準に則り罰則があたえられる場合がある。

1. 選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者の体調管理について

- 入場する選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者は「【様式3】健康チェックシート（自己管理用）」を使用し、開催初日から遡って2週間（10月16日から）の体調管理を行ってください。（学校・職場等で別途様式を使用している場合は兼用してもかまいません。）
- 大会前にチーム内に陽性者、濃厚接触者が発生した場合、感染してから練習への復帰、大会参加までの日数が妥当であることを確認してください。

陽性者：退院または療養施設、自宅等での隔離終了後1～2週間

濃厚接触者：隔離14日以上経過

※上記の期間が経過後、段階的に練習を積んだ選手のみ大会に選手として参加することができる。

- 試合2日前（48時間前）からは症状があった場合の感染リスクが高まるため、各チームでの健康チェックを徹底してください。

※別表【①】を参照の上、チームの参加の可否の判断を行ってください。

- 選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者は大会4日前～大会当日～大会期間中において、以下のいずれにも該当しないこと。

- 37.5℃以上の発熱がある
- 咳（せき）、のどの痛み、などの風邪症状がある
- だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある
- 臭覚や味覚の異常がある
- 体が重く感じる、疲れやすい等がある
- 新型コロナウイルス感染症陽性者と判定された者との濃厚接触がある
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある

※上記に該当した際は、主催者にて大会参加資格を取り消す場合がある。

- 大会参加日以降も1週間は経過観察を行い、「【様式3】健康チェックシート（自己管理用）」で選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者は体調管理をしてください。1週間以内に、発熱症状が出た場合は、感染対策責任者は大会事務局へ報告してください。

2. 感染対策責任者について

- ・ チームは「感染対策責任者」を1名任命してください。
※大会への参加2週間前～試合敗退1週間後までのチーム内の健康管理・大会事務局との連絡が必要となりますので、チーム責任者の方が相応しいと考えられます。
- ・ 感染対策責任者は日常の感染防止対策の徹底を意識し、すべてのチーム関係者に下記事項を周知し日常の感染対策意識を高めるよう努めてください。
① マスク着用 ② ソーシャルディスタンスの確保
③ こまめな手洗い・手指消毒・使用したものの消毒
④ 検温等健康チェック ⑤ 換気の徹底
- ・ 感染対策責任者は本ガイドラインをご確認し、**参加当日に「【様式1】体調確認シート・入場者一覧」を必要事項記入の上、受付にご提出ください。**
※「【様式1】体調確認シート・入場者一覧」は毎試合ごとにご提出ください。
※「【様式1】体調確認シート・入場者一覧」の提出が無い場合は試合をすることができません。
- ・ **すべてのチーム関係者にコート上でのプレーする以外の場面では、常時マスクを着用するよう周知徹底してください。**
※感染力の強いウイルスが増えていることから、「不織布」マスクの推奨をお願いします。但し、選手がプレー中にマスクを装着する場合は、熱中症・脱水症予防の観点から「布・ウレタン」にするなどの配慮をしてください。
- ・ 感染対策責任者はチーム関係者から集めた「【様式3】健康チェックシート（自己管理用）」を大会終了後2カ月間保管し、保管期間終了後、個人情報に配慮し適切に処分をお願いいたします。

3. 大会役員・審判員（ABA 派遣審判員含む）の体調管理について

- ・ JBA ならびに ABA 審判員のガイドラインにそって体調管理の実施をお願いいたします。
- ・ 派遣審判員・大会役員は「【様式2】体調確認シート（役員・審判用）」または、JBA ならびに ABA 審判員のガイドライン既定の「健康チェックシート（提出用）」を大会本部へ参加日ごとにご提出ください。
- ・ チーム引率の指導者や帯同審判がある場合については、「【様式1】体調確認シート・入場者一覧」に記載し、大会本部へ参加日ごとにご提出ください。

4. 会場への入場制限について

- ・ 各会場の収容人数やすべての来場者の健康管理が行き届かないなどの観点から、健康管理をしている選手の入場を優先することとし、**原則すべての会場において無観客で大会を行います。**
- ・ 大会エントリー時のチームスタッフ4名以外と別に、動画・写真撮影のためチーム関係者の入場を2名のみ認めます。また、大会エントリーができなかった所属選手の3年生のみ所定の場所において観戦することを認めます。
※動画・写真撮影のために入場したチーム関係者については、試合途中での交代は認めません。
- ・ **館内に入場できるのは、「【様式1】体調確認シート・入場者一覧」に名前の記載がある方のみとします。** チーム受付などでの入場も認めません。事前に名前の記載がある方へ、参加費・必要書類等をお渡しいただくようお願いいたします。

5. 会場への入場時間について

- ・ **会場への入場時間は第1ゲームのチームは9時から、第2ゲーム以降のチームは試合開始1時間前からとします。**
- ・ オフィシャル、帯同審判に指定されているチームは担当試合開始30分前からの入場とします。
- ・ 自チームの試合前にオフィシャル、帯同審判が指定されて30分前に入場するチームは少数で入場するようご協力をお願いいたします。試合後にオフィシャル、帯同審判が指定されている場合は、オフィシャルクルー以外は早めに退館してください。
- ・ オフィシャルクルーは4~6名程度（オフィシャルクルー・得点板担当）のみ、コートキーパーは不要です。
- ・ **指定された入場時間より早く来場し、会場周辺でのウォーミングアップは禁止します。**
- ・ **試合終了後、チームのミーティング等については会場では行わず、速やかに退館してください。また、会場駐車場・ロータリーなどでのチームのミーティング等は禁止します。**

6. 会場での対策について ※入場するすべてのチーム関係者に周知徹底してください。

- ・ **チームで使用する消毒液（手指消毒用）・体温計を持参する。**
- ・ ベンチの椅子は、間隔をあけて設置し、エンドラインをはみ出してもよいこととします。通常、選手15、スタッフ4の19脚で設置しているものを、控え選手10、スタッフ4の14脚で設置する。交代後に、呼気の激しい選手については、呼吸を整えるためにベンチエリアをエンドライン側のソーシャルディスタンスを確保できる位置まで越境してもよい。
- ・ 会場内で出たごみ、アイシング用水、飲み残しのドリンク類はすべて持ち帰る。
※試合中に飲んだ空きペットボトルやアイシング用水を会場内のごみ箱や手洗い場に廃棄しない。
- ・ 更衣を済ませてから来場するなど、更衣室の利用をなるべく避ける。
- ・ 試合終了後更衣室を利用する場合は、チーム内で時間差を設ける、対戦チームとの同時利用を避けるなど配慮する。選手のシャワーの使用は原則禁止する。
- ・ 試合終了後、ベンチを使用したチームが消毒を行い、感染対策責任者が最終確認をしてから退場する。TO席についてはオフィシャル担当チームで消毒を行う。
- ・ 2試合目以降に試合があるチームは、前試合の消毒作業終了後にフロアに入場する。
- ・ 試合中、以下の内容を厳守する。

・ 試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は実施しない。	
・ コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮する。	
・ 相手ベンチへの挨拶を実施しない。	・ 円陣はしない。
・ 倒れた選手に手を貸さない。	・ ハイタッチ、抱擁を行わない。
・ 咳エチケットを守る。	・ ボトルを共有しない。
・ タオルを共有しない。	・ ベンチではマスクを着用し、会話を控える。
- ・ 観覧席はソーシャルディスタンス（最低1m程度）を意識し、距離を取って使用する。
- ・ 審判のホイッスルは、電子ホイッスルの活用も認める。ホイッスルを使用する際は、ホイッスルカバーやレフェリーマスクを着用するなど、飛沫対策を講じる。

7. 出場辞退チームがあった場合ならびに大会の中止の判断について

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため試合を棄権した場合は、20-0 で相手チーム勝利とします。
- ・ 愛知県内の感染拡大の状況、愛知県内の行政による移動制限などに応じて、大会の中止や試合形式等を変更することがあります。
※10月24日までに参加チームのうち、男女各7チーム程度または出場チーム全体の14チーム程度が新型コロナウイルス感染症を理由に出場辞退を希望した場合は、大会を中止します。
- ・ 大会中に愛知県に緊急事態宣言の発出・愛知県内感染者の急増など中止を検討しなければならない場合は、愛知県バスケットボール協会と協議の上、順位が決定していない場合でも大会を中止する場合があります。
- ・ 大会中に参加者（選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者）から陽性者が発生し、保健所の指導により陽性者行動のヒアリングから濃厚接触者の判定及び、各種消毒作業により大会運営に大きな支障を来す場合は大会を中止します。

8. その他

- ・ 会場内では、「3密（密接・密集・密閉）」を避けるように努めてください。
- ・ 会場周辺、店舗、公共交通機関を利用する場合は、マスクの着用等、感染予防に努めてください。
- ・ 大会前、大会期間中に感染者が出た場合、誹謗中傷を行うことのないよう各チームにて指導の徹底をお願いします。
- ・ 大会の中止が決定した場合はホームページへの掲載・メールでの連絡でお知らせします。
大会が開催途中で中止となった場合や参加チームが出場辞退（棄権）となった場合は、それまでに支払われた参加費の返金はいたしません。
- ・ 入場しない保護者の方の車が、会場駐車場を占有しないよう周知をお願いします。

【参考】JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン（手引き）第4版

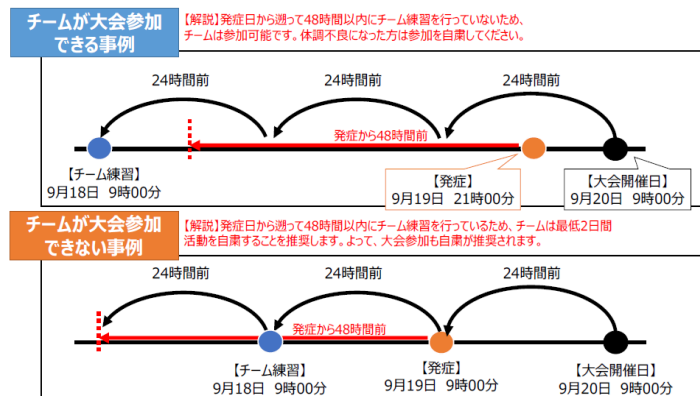
http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_4th_20210909.pdf

【別表①】

- 大会前日から大会中に感染が疑われる **体調不良者（陽性者の判定が出ていない）がある場合**は、チームとしての大会参加を自粛してください。

【大会参加可否の事例①参照】

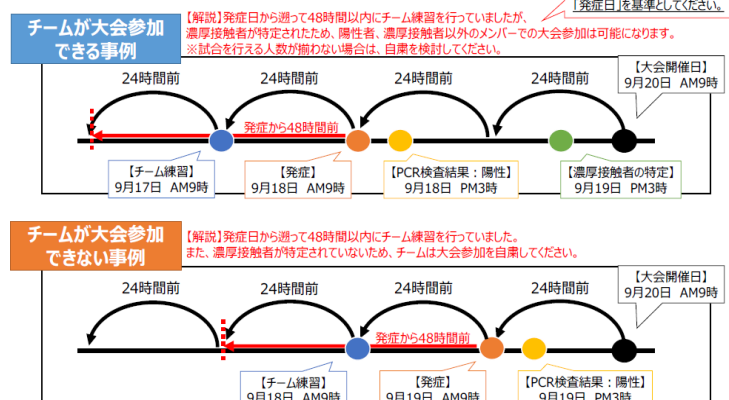
【大会参加可否の事例① チームから**体調不良者**が発生した場合】



試合前日から大会中に **陽性者が判明したチーム**は出場を辞退（棄権）していただく場合があります。ただし、チーム所在地の保健所等関係機関の指導により「**陽性者、濃厚接触者ではない**」と判定された「**体調が良好な者のみ**」で5名揃うようであれば大会への参加を認めます。

【大会参加可否の事例②参照】

【大会参加可否の事例② チームから**陽性者**が出た場合】



大会前日から大会中に **濃厚接触者が判明したチーム**は出場を辞退（棄権）していただく場合があります。ただし、チーム所在地の保健所等関係機関の指導により「**陽性者、濃厚接触者ではない**」と判定された「**体調が良好な者のみ**」で5名揃うようであれば大会への参加を認めます。

【大会参加可否の事例③参照】

【大会参加可否の事例③ チームから**濃厚接触者**が出た場合】

